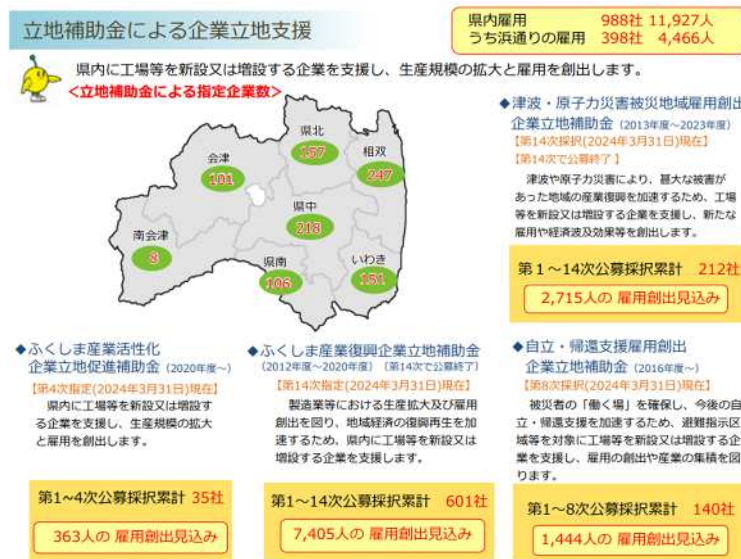


派遣先所属 福島県企業立地課
 氏 名 本郷 明日香 (ほんごう あすか)
 派遣期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

1 派遣業務の内容、現況

派遣先の企業立地課では、主に企業誘致及び補助金等の企業立地支援に係る業務を行っています。私は立地支援担当に所属し、「ふくしま産業復興企業立地補助金」、「ふくしま産業活性化企業立地促進補助金」及び国が所管する「自立・帰還支援雇用創出支援企業立地補助金」の相談・審査・採択・交付等に係る業務を担当しています。いずれも東日本大震災及び東京電力第一原子力発電所の事故により大きな打撃を受けた福島県の製造業等の生産拡大及び雇用創出を図ることで、地域経済の復興及び活性化に貢献することを目的としています。なお、私の所属する担当は主幹以下7名体制で、自治法派遣職員は私1人となっています。



〈企業立地補助金の概要〉

(ふくしま復興のあゆみ (第40号) /令和6年7月22日発行 より引用)

私の業務内容ですが、年度当初は自立・帰還支援雇用創出支援企業立地補助金活用予定の企業からの事前相談業務を行いました。国の補助金ではありますが採択にあたり県にも意見が求められるため、被災地への貢献度等の観点から評価を行い、意見書を作成しました。今年度は15件の採択となっています。

7月以降は、ふくしま産業活性化企業立地促進補助金の主担当として、交付要綱等の改正を始め、申請予定企業からの事前相談、申請の受付、審査会の開催、採択企業の決定等の一連の業務を担当し、5件の企業を採択することとなりました。また、新規採択事務のほかにも昨年度以前に採択され事業が完了した企業に対する補助金交付事務も行っています。支払証拠書類を確認し補助対象として適正かどうか等を細かく審査する必要があり、疑問点を解消するまで企業と根気よくやりとりを行う必要があるため非常に時間を要する作業となります。今年度末までにさらに

5件の交付を完了する必要があるため、今後はこの事務が中心となります。

このほかにも「ふくしま産業復興企業立地補助金」の補助金交付事務も行っています。この補助金はすでに令和2年度で募集が終了しておりますが、一部補助金の交付が完了していない企業があり、令和6年度末までにすべての交付を完了する必要があるため、他の職員と協力しながら効率的に事務を進めています。

2 被災地の復旧・復興の状況

出張等で訪れる機会の多い、中通り、会津、いわき市では、ほとんど震災の爪痕は残っていません。しかし、6月に派遣職員を対象とした被災地視察研修において帰還困難区域が含まれる浜通り市町村を通過した際、帰還困難区域を示すバリケードや、放置された空き家空き店舗、生い茂った草木等、人の営みがあまり感じられない状況を目の当たりにし、震災から10年以上たった今でもいまだに避難指示が出ている地域があるという現状を突き付けられた気持ちになりました。

もちろん復興に向けた歩みは着実に前進しています。避難指示区域も順次解除が進み、特に浜通りでは道路や鉄道などの交通インフラ、医療・介護・住宅環境の整備等も進められています。また、産業振興の観点からみれば、2011年以降福島県に立地した企業数は872社にのぼり、県全体の製造品出荷額は震災前の水準までに回復しました。しかし業務を行う中で、震災以降、現在も根強く残っている問題であると感じるのは、人口減少による人手不足の問題です。完了検査等で企業の方とお話をする際、どの企業からも、採用が厳しく、若者が県外に流出し企業同士で人の取り合いになっているという切実な現状をお聞きます。実際、企業立地補助金の受給要件の一つである雇用要件を達成できず補助金交付を辞退するという企業も少なくありません。人口減少という喫緊の課題に対して、企業誘致（及び補助金等による企業支援）は効果的な対策であり継続させなければならないとは思いますが、それだけでなくさまざまな観点から対策を講じることが急務であると感じています。

3 被災地へ派遣となって感じたこと

福島県に派遣されて約8か月が経ちました。年度当初は、縁もゆかりもない福島での新生活と今まで経験のない業務内容に不安もありましたが、今では職場の皆様のご協力のおかげで、充実した日々を過ごすことができています。派遣職員向けの被災地視察研修や派遣職員同士の意見交換会等も開催いただき、派遣職員へ温かいお気遣いをいただいております。

私は震災復興に関わる業務に携わりたいという理由から、この被災地派遣を希望しました。今、微力ではありますが産業の面から震災復興に関わることができ、とても貴重な体験をさせていただいているなど日々感じています。今後も福島とのつながりを大切にし、福島の魅力を周りの方々に伝えること等で、微力ではありますが福島に貢献できればと思います。

休日は福島県内の各地を巡っています。数多くの温泉地をはじめ、山や桜、紅葉の名所等見どころが満載で、季節ごとの風景を楽しむことができますし、相馬野馬追、福島わらじ祭り、飯

坂けんか祭り、白河提灯祭り等伝統的なお祭りを体験することもできます。また、震災遺構・浪江町立請戸小学校や東日本大震災・原子力災害伝承館のような震災の記憶を伝える施設もあります。福島にはここに書いた以外にも見ていただきたいところがたくさんありますので、ぜひ福島に訪れてみてください。



大内宿



五色沼



相馬野馬追



いわき市工場夜景



安達太良山山頂



震災遺構・浪江町立請戸小学校